

「妙見山自然観察会」観察の眼

2018. 7. 13

4班 高原 富佐子

☆妙見口駅 ～ ケーブル黒川駅 ケーブル山上駅 ～ 妙見山上



ツタ (ブドウ科)
異形葉：3出複葉



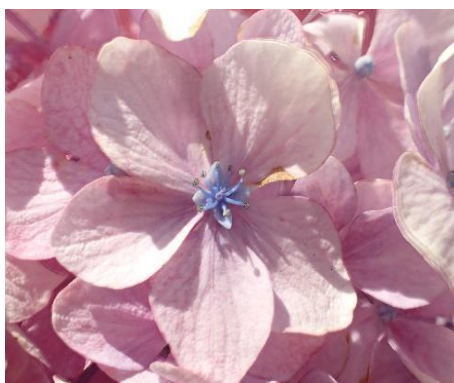
ツタの果実(ブドウ状の液果)
・果実の先の白いのは花柱が残っている



ツタウルシ (ウルシ科)



ハグロソウ
(キツネノマゴ科)



セイヨウアジサイ：装飾花



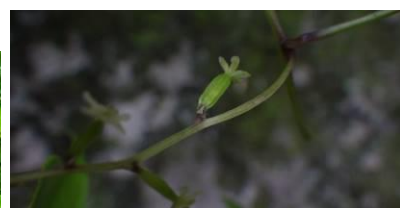
セイヨウアジサイ
・真花（両性花）



ヤマノイモ：雄花序
・葉は対生
・雌花序は垂れ下がってつく
・雌雄異株



オニドコロ：雄花序
・葉は互生
・雌花序は下垂
・雌雄異株



オニドコロ雌花



オニドコロ雄花



アオギリ (アオイ科)

- ・樹皮は緑色
- ・雄花と雌花がある



カヤ (イチイ科)

- ・葉先は鋭い刺状



トウネズミモチ

- ・ネズミモチより少し
花期が遅い



ヤブカンゾウ

- ・花は1日花
- ・八重咲き



アキカラマツ

(キンポウゲ科)

- ・茎先に円錐花序を付ける
- ・花は淡黄白色、花弁はない
- ・雄しべが放射状に出る



ヤブムラサキ

(シソ科)

- ・葉、枝、花など木全体に
ふわふわした毛が多い



アカメガシワ雌木



アカメガシワ雌花



アセビ (ツツジ科) 果実



ヒノキ (ヒノキ科) 球果



ネムノキ (マメ科)

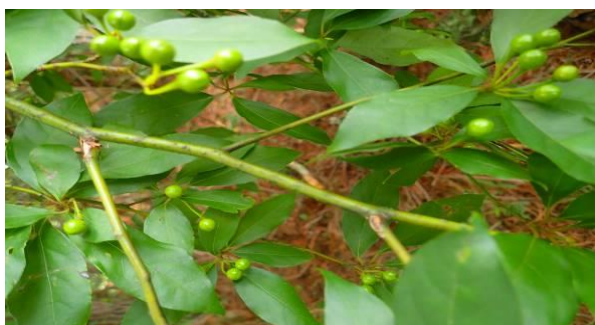
- ・葉は2回偶数羽状複葉
- ・花は10～20個の集合花
- ・花弁は基部にあり5個
- ・雄しべ(花糸)は淡紅色で長い



ダンコウバイ (クスノキ科)



リョウブ (リョウブ科) 花



クロモジ (クスノキ科) 果実



ミヤマガマスミ (レンプクソウ科) 果実

- ・葉の表・裏面とも無毛で光沢がある



← **ホオノキ** (モクレン科)

- ・すでに冬芽が見られる



サルナシ (マタタビ科) 果実



アケビ (アケビ科) 果実



タマゴタケ幼菌 (傘が開く前)

→→→



タマゴタケ



ゴンスイ (ミツバウツギ科)



カラスザンショウ (ミカン科) 樹皮

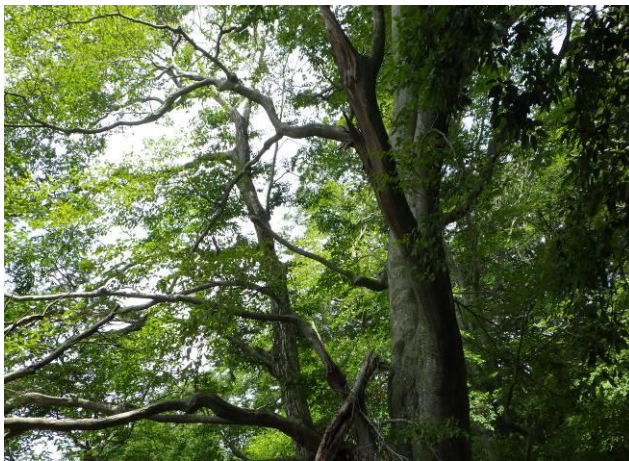


アカガシ (ブナ科)

- ・葉柄が長くほぼ全縁
- ・通常はブナ帯の下部に生育する
- ・妙見山ではブナと混生群落をなす

フナ (ブナ科)

- ・大阪近郊のフナは800m以上に分布し、フナ・ミズナラ群落をつくるが、妙見山は660mと比較的低い山に生育しておりフナ・アカガシ群落をつくっているのが特徴



妙見山のフナ林

- ・200本ほどある
- ・妙見山のブナ林は氷河期から続く森である。大阪府の天然記念物に指定されている。
- ・ブナは成長が遅い
- ・30～50年で実が付く
- ・結実は3～5年に一度

フナと共生していたイヌシテが倒れた



フナの葉

- ・側脈は平行
- ・葉縁は波形の鋸歯がある
- ・側脈は縁の凹んだ所へ向かう



今年のフナの実



落ちている昨年の実